

Grant Toit いわみステージ事業
 「ともとのガラクタ音楽会 in 津和野」の開催について

公益財団法人しまね文化振興財団（いわみ芸術劇場）では、Grant Toit いわみステージ事業「ともとのガラクタ音楽会 in 津和野」を開催します。

Grant Toit いわみステージ事業は舞台芸術の鑑賞機会の平等性担保を目指し、中山間地域でプロのアーティストによる公演を開催する事業です。今回は、ガラクタに命を吹き込む打楽器奏者・山口とも出演で昨年、匹見町と三隅町で大盛り上がるの音楽会が津和野町にやってきます！

つきましては、ご多忙とは存じますが、取材及び報道方よろしくお願いいたします。

記

Grant Toit いわみステージ事業「ともとのガラクタ音楽会 in 津和野」

◆7月15日（土）

開場 13:30 開演 14:00（終演 14:50 予定）

会場／津和野高校体育館（津和野町後田ハ 12-3）

料金／一般 500 円／高校生以下無料

<出演>

■山口とも（打楽器奏者・日本廃品打楽器協会会長）

祖父、山口保治は「かわいい魚屋さん」「ないしょないしょ」など数々の童謡を創った作曲家。父、山口浩一〔新日本フィルハーモニー／ティンパニー奏者〕の長男として東京に生まれる。1980年「つのだ☆ひろと JAP, S GAP, S」でデビュー。解散後、フリーの打楽器奏者として早見優・今井美樹・平井堅・石井竜也・サーカス、また2013年には石川さゆり2019年はエゴラッピンでドラムを担当、数々のアーティストのツアーやレコーディングに参加。95年の音楽劇「銀河鉄道の夜」をきっかけに廃品から様々なオリジナル楽器を作るようになる。おおたか静流とのスピリチュアルなライブパフォーマンスやロックの中山ラビ、等活動の場を広め、04年には日本演芸協会の福岡詩二氏から“打楽器コメディアン”の称号をもらい、東京の演芸ホール等に出演、好評を博している。03年4月～06年3月までNHK教育テレビ「ドレミノテレビ」に「ううあ」と「ともとも」の愛称でレギュラー出演していた。「音楽＝音を楽しむこと」をモットーに近年は子供から大人まで楽しめる音楽を目指し、オリジナル廃品楽器を使ったパフォーマンス活動で注目を浴びている。ガラクタに命を吹き込む打楽器奏者。

<その他～取材について>

- ・取材の際には腕章をお願いいたします。
- ・カメラ撮影はノーフラッシュをお願いいたします。
- ・取材をご希望の方は、事前にご連絡いただきますようお願いいたします。

主催：島根県／公益財団法人しまね文化振興財団（いわみ芸術劇場）

